

## 障害者の住まい方に関する調査の実施報告について

平成28年9月～10月に実施した障害者の住まい方に関する調査（以下「調査」という。）について、集計結果がまとまったので、下記の通り報告する。

## 記

## 1 調査の目的

障害者が住み慣れた地域で安心して生活していくためには、暮らしの基盤となる住まいの確保が不可欠である。障害者の個々の状況によっては、グループホームなど、居住の場の充実が必要となる。

そこで、グループホームへの入居など、障害者自身や家族の将来の住まい方へのニーズを把握し、今後の施策展開の参考とする。

## 2 調査の概要

## (1) 調査の対象

区内在住の身体障害者手帳所持者、愛の手帳所持者、自立支援医療（精神通院医療）の利用者、難病医療費助成制度の利用者から、合計8,638名を無作為抽出（平成28年3月末時点）

（内訳）身体障害者手帳所持者	2,251名
愛の手帳所持者	2,163名
自立支援医療（精神通院医療）利用者	2,438名
難病医療費助成制度利用者	1,786名

## (2) 調査方法

郵送配付・郵送回収

## (3) 調査期間

平成28年9月7日～10月17日

## (4) 回答状況

発送数 8,638件      回答数 3,458件      回答率 40.0%

### 3 調査結果の概要

#### (1) 調査回答者の概要

項目	障害種別ごとの主な回答			
	知的障害者	精神障害者	身体障害者	難病患者
①記入者	「家族または支援者が記入」が80%	「自分一人で記入」が73%	「自分一人で記入」が63%	「自分一人で記入」が83%
②年齢	30歳未満が53%。平均30歳	40代、50代が多い。平均47歳	50歳以上が72%。平均60歳	50歳以上が70%。平均58歳
③性別	男性が63%	女性が53%	男性が54%	女性が59%
④手帳の状況	・手帳所持率100% ・3級が32%	・手帳所持率48% ・2級が53%	・手帳所持率99% ・1級が31%	重複する障害の手帳の所持となるため割愛
⑤障害支援区分の認定	41%が認定あり	17%が認定あり	13%が認定あり	10%が認定あり
⑥サービスの利用状況	64%が利用	38%が利用	29%が利用	17%が利用
⑦医療的ケアの状況	4%が必要	3%が必要	13%が必要	11%が必要

#### (2) 現在の生活状況

項目	障害種別ごとの主な回答			
	知的障害者	精神障害者	身体障害者	難病患者
①自身の収入源	・障害基礎年金が55% ・就労が51%	・就労が41% ・障害基礎年金が33%	・就労が29% ・その他（老齢年金等）が30%	・就労が41% ・その他（老齢年金等）が36%
②就労形態	・福祉的就労が59% ・パート、アルバイトが27%	・パート・アルバイトが40% ・福祉的就労が31%	・正社員・正職員が43% ・パート・アルバイトが31%	・正社員・正職員が43% ・パート・アルバイトが37%
③1か月の合計収入	10万円未満が60%	10万円未満が64%	10万円未満が39%	10万円未満が44%
④主な生計維持者	・父が63% ・母が16%	・本人が41% ・父が23%	・本人が47% ・配偶者が21%	・本人が47% ・配偶者が36%

⑤ 主な生計維持者が父または母の年齢、年収	・父は平均 59 歳 ・母は平均 62 歳 ・年収は 100～300 万円が 31%	・父は平均 66 歳 ・母は平均 68 歳 ・年収は 100～300 万円が 34%	・父は平均 59 歳 ・母は平均 68 歳 ・年収は 100～300 万円が 36%	・父は平均 65 歳 ・母は平均 70 歳 ・年収は 100～300 万円が 35%
⑥ 同居家族	両親65%	一人暮らし27%	配偶者44%	配偶者60%
⑦ 主な介助者	母が78%	母が27%	配偶者が30%	配偶者31%

(3) 住まい方の希望

項目	障害種別ごとの主な回答			
	知的障害者	精神障害者	身体障害者	難病患者
① 5年後の希望する住まい方 (第1希望)	・家族と一緒にが68% ・グループホームが15%	・家族と一緒にが57% ・ひとりで暮らしが29%	・家族と一緒にが64% ・ひとりで暮らしが22%	・家族と一緒にが76% ・ひとりで暮らしが18%
② 10年後の希望する住まい方 (第1希望)	・家族と一緒にが57% ・グループホームが21%	・家族と一緒にが53% ・ひとりで暮らしが28%	・家族と一緒にが60% ・ひとりで暮らしが19%	・家族と一緒にが73% ・ひとりで暮らしが16%
③ 20年後の希望する住まい方 (第1希望)	・家族と一緒にが36% ・グループホームが31%	・家族と一緒にが46% ・ひとりで暮らしが25%	・家族と一緒にが51% ・ひとりで暮らしが16%	・家族と一緒にが64% ・ひとりで暮らしが13%

(4) グループホームに求めるもの

項目	障害種別ごとの主な回答			
	知的障害者	精神障害者	身体障害者	難病患者
① 家賃負担の希望	5万円未満が66%	5万円未満が64%	5万円未満が51%	5万円未満が56%
② 立地条件	家族がいる場所に近いが80%	家族がいる場所に近いが59%	家族がいる場所に近いが61%	家族がいる場所に近いが71%
③ 入居条件の希望	世話人がいつもいることが81%	家賃が安いことが73%	家賃が安いことが66%	家賃が安いことが73%

④必要とする支援	・日常生活の見守りが76% ・金銭管理が68%	・日常生活の見守りが52% ・服薬管理が37%	・日常生活の見守りが52% ・医療的ケアが38%	・日常生活の見守りが58% ・医療的ケアが47%
⑤共用設備でほしいもの	・温水洗浄便座 ・手すり	・温水洗浄便座 ・手すり	・手すり ・介護用リフト	・手すり ・介護用リフト
⑥整備にあたっての希望	・個室の確保 ・世話人の人柄、資質	・個室の確保 ・清潔、広いこと	・障害者用の設備や仕様 ・個室の確保	・個室確保 ・障害者用の設備や仕様
⑦入居にあたっての心配ごとや課題	・同居人との人間関係 ・世話人の人柄や資質	・同居人との人間関係 ・入居費用等の経済的不安	・同居人との人間関係 ・入居費用等の経済的不安	・入居費用等の経済的不安 ・同居人との人間関係

(5) 地域で生活するための希望

項目	障害種別ごとの主な回答			
	知的障害者	精神障害者	身体障害者	難病患者
①地域で生活する場合に希望するサービス	・居宅介護の充実 ・移動支援の充実	・居宅介護の充実 ・相談相手 ・経済的支援	・居宅介護の充実 ・移動支援の充実	・居宅介護の充実 ・移動支援の充実
②地域で生活するときに困ったこと	・特に困ったことがないが45% ・契約手続きが分からないが13%	・特に困ったことがないが44% ・契約手続きが分からないが20%	・特に困ったことがないが51% ・バリアフリー対応の物件がないが13%	・特に困ったことがないが65% ・バリアフリー対応の物件がないが11%
③住まいに関する意見・要望	・入所施設、グループホームの充実 ・親や介助者の加齢による将来の不安 ・見守り体制の充実	・住宅支援 ・経済支援 ・住宅設備の充実	・経済支援 ・障害者、高齢者等の対応設備の充実 ・住宅支援	・経済支援 ・障害者、高齢者等の対応設備の充実 ・住宅支援

#### 4 今後の取組について

##### (1) 地域で生活するために必要な支援の充実

家族との同居や一人暮らしの希望が多いという調査の結果を踏まえ、次期障害福祉計画に、在宅生活の支援を強化する取組を反映できるよう検討する。

##### (2) グループホームの整備の推進

グループホームのニーズがあることを踏まえ、区政改革計画に基づいて、中軽度、重度の障害者グループホームの増設に取り組む。整備に当たっては、民間との協働により整備を進める。

#### 5 調査結果等の周知

##### (1) 区ホームページへの掲載

(2) 障害者施策推進課、区民情報ひろば、総合福祉事務所、図書館等で閲覧に供する。